

ate

株式会社イトーキ

君へ、みんなへ。能登ヒバベンチ「アテ」



ひとを思うようになります。

多様な体型の利用者がラクに腰掛けることができ、尚かつ立ち上がりやすい

- ・460mmという少し高めめの座面と前端の傾斜（腿裏のうっ血対策にも）の組み合わせ
- ・座面よりも少し前に位置する足乗せバー

子供が利用しても安心安全

- ・座面のコーナーを丸くカットし、接触した場合の衝撃を緩和
- ・座面下のボルトは皿型を採用し、仮にベンチ下に潜り込んで遊んでも頭を怪我しにくい

車いすやベビーカーとの共存の工夫

- ・座面左右両端の下にフレームがないので前輪が引っかかる等の心配がない
- ・座面のコーナーが丸くカットされているので当たりにくい
- ・上記により、ベンチに非常に近く寄ることができ、同伴者との距離感が縮まる

より多くの人々が気軽に利用できるように

- ・前後の区別がないため、双方向から腰掛けることが可能
- ・全体としてコンパクトなため、限られた空間に複数設置することが可能

とはいえ、泥酔者や浮浪者はNG

- ・座面が筒状に湾曲しており、奥行きも270mmしかないため、座面上に横になることは容易ではない

メンテナンスをする「あなた」のことも考える

- ・座面を構成する木材の間には隙間があり、雨水やゴミ、ホコリが溜まらない
- ・フレームの底辺が平らなので、雨水やゴミ、ホコリが溜まりにくく、掃除がしやすい
- ・座面の木材の寸法は一般的なツーバイフォー規格なので、緊急の交換にも対応がしやすい



汎用性は高いほうが良い

- ・クセのないデザインが様々な空間に馴染む
- ・フレーム部分は塗装仕上げになっているので、場に合わせたカラーリングにアレンジすることが可能
- ・座面の木材の寸法が一般的なツーバイフォー規格なので、場合によっては能登ヒバ以外の材を用いることも可能
- ・材料（フラットバーと木材）の寸法設定のみで調整できるためサイズ展開が比較的容易

1-1-24